


 塩治
地区

第 92 号

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩治地区社会福祉協議会 事務所 塩治コミュニティセンター内 TEL 21-0248
 塩治社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>

～ 塩治地区高齢者福祉大会 ～

平成 30 年 9 月 17 日（月）、塩治コミュニティセンターにおいて、例年どおり今年も「塩治地区高齢者福祉大会」を盛大に開催しました。

大会には塩治地区で 90 歳の卒寿を迎えられた 4 名の方に出席いただき、「ことぶき園」「きいちご倶楽部」「寿生の郷」の各施設のみなさん 24 名、来賓には塩治自治協会の板倉重安会長ほか 7 名、そして大会に花を添えてくれた塩治幼稚園の園児たちとその家族、地区社協理事や福祉委員を加えて総勢約 200 名により、賑やかに行われました。

開会のことばの後、中尾るみ子さんの伴奏に合わせ全員で「塩治賛歌」の斉唱、そして塩治地区社会福祉協議会中尾一彦会長の挨拶があり、続いて自治協会の板倉重安会長よりお祝いのお言葉と共に、今年の極暑や西日本の豪雨災害等の話題から塩治地区の防災についてもいろいろ聞かせていただきました。その後、中尾会長より卒寿を迎えて出席いただいた 4 名の方に長寿のお祝いが手渡されました。

式典のあとは「アトラクション」です。まず塩治幼稚園の園児による歌と踊り、そして「桃太郎」の劇です。子供たちの元気な歌と踊り、お芝居に会場の皆さんも一緒に歌い、手を打ち足をならしながら楽しんでいただきました。また子供たち全員から「おじいさん、おばあさん、いつまでも元気でいてください！」と声を掛けられ、皆さんたくさんの元気がもらえたようです。



次は一昨年、福祉委員の有志で結成し、各所で活動を行っている「あげそげ塩治福祉座」の出雲弁での面白おかしくの演劇です。今回は「出雲のサザエさんー環境編ー」と題し、ある家庭のゴミ出しについてや近所の人たちとの会話に「出雲市のごみの分け方・出し方ガイドブック」を片手に「正しいゴミの出し方」を参加者の皆さんに声を掛けながらの分かりやすいゴミ処理の勉強でした。また歌や踊りもあり、とても楽しい時間となりました。

最後は松田美紀さんのピアノに合わせて「懐かしい歌をみんなで合唱」です。皆さん一緒に大きな声と身振りで歌い、とても楽しむことができました。約 1 時間半の楽しいひと時、今年も無事に終えることができました。

（取材：広報広聴部）

弓原 サロン会

わくわくどきどき 心地よく ハーモニカ演奏を楽しむ

6月18日(月)、第1回目のサロン会を23名の参加者により、ホテルリッチガーデンにおいて実施しました。

今回は元中学の校長で視覚障がい者の岩崎巖さんを講師にお迎えし、「わくわく どきどき 心地よく」～出会いに感謝～というテーマで、ご自身の経験を踏まえた貴重なお話と豊かな音色のハーモニカ演奏を楽しみました。

岩崎さんは63歳でハーモニカと出会い、楽譜が見えないため、曲を耳で聞いて覚え、独学でレパートリーを増やし、今では各地で演奏会を開くまでになり、ハーモニカを通じたさまざまな出会いを大切に、とても前向きにいきいきと活動されています。そうした姿に参加者一同大変感動し、元気をもらうことができました。



選曲は唱歌、抒情歌、昭和歌謡など皆さんよくご存知の曲ばかりで、「若い頃を思い出してとても懐かしかった。」などの感想が聞かれました。

普段歌う機会が少ない参加者のみなさんも、歌集を見ながらハーモニカに合わせて一緒に歌い、とても楽しい時間を過ごすことができました。最後は『川の流れるように』『ふるさと』の大合唱で、盛会のうちに幕を閉じました。

(理事 加茂喜美江)

高西 サロン会

馴染みのある音楽で 楽しく健康づくり

7月6日(金)、高西公会堂で高齢者の親睦と健康づくりを目的に高西さわやかサロン会を38人の参加で開催しました。高西在住の音楽療法士 金築朋子さんによる「馴染みのある音楽で楽しく健康づくり」の講座を中心にビンゴゲームや昼食も交えた楽しい集いです。

音楽療法は病後のリハビリに音楽を活用する手法であり、日常生活に取り入れることで心も身体も健康に保て、認知症の予防にもつながるとの説明です。

金築さんの歌唱指導が始まり、誰もがよく知っている童謡や唱歌を歌いますが、これがなかなか難しい。「ももたろう」と「きんたろう」の歌を一小節づつ交互に歌う、「かたつむり(でんでんむしむし〜)の歌詞を「雨(雨がふります〜)」のメロディーで歌う、「かたつむり」を歌いながら、右手と左手でかたつむりの形を作る等々。

宮松・築山 サロン会

あげそげ塩冶福祉座の公演と 出雲警察署による防犯教室

6月28日(木)、第1回目のサロン会を27名の参加者により、宮松公会堂において開催いたしました。

最初にあげそげ塩冶福祉座による「黄門様の世直し道中」をご覧いただきました。旅の途中で振り込め詐欺に会いそうになった人を黄門様一行が助けて被害を未然に防ぎ、また道に迷っておられる方がおられると婦警さんと協力し、家まで送り届けたりと、いろんな被害にあわないようみなさんに注意を呼びかけていただきました。その後は歌の合唱、オリンピック音頭の踊りなどさまざまに楽しませていただきました。



次に出雲署駅前交番所長より、市内の交通事故状況や犯罪情勢などについてわかりやすくお話していただきました。また最近とくに増えている『消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ』と書かれた葉書を見せていただきました。最初は少ない金額からだんだんと高額になり、県内でも何千万もの被害が出ており、女性を目当てに届くことが多いようです。いつまでも治まらない詐欺被害にあわないよう、気をつけていただきたいと思います。所長さんとの質疑応答の後、お茶とお菓子で茶飲ん話をさせていただき、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

(宮松理事、築山理事)



ただ歌うのではなく、身体や頭をしっかりと使わないとできません。「あいけー、手が動かんがね」「歌詞を間違えてはっかでいけんわ」会場は皆さんの明るい笑い声(悲鳴?)であられ、フランク永井などの懐メロも交えながら、時間はあっという間に過ぎてしまいました。最後に金築さんの懐かしい唱歌の独唱で、参加者はうっとおしい梅雨空も忘れ、美しい歌声に聞き入っていました。

(高西理事 布野達也)

7月26日(木)、大正海上ふれあいサロン会をドレミホールに於いて、福祉音楽レク活動家 齋藤大輔さんにより、「音とゲームで脳の活性化」と題し、参加者 15 名で開催しました。

講師の齋藤さんは音楽専門学校や福祉専門学校で学ばれた後に、福祉施設で勤務した経験を生かし、現在はフリーランスで音楽レクレーションインストラクターとして、福祉施設や公民館、保育所などで活動されています。



齋藤さんより、音楽やゲーム等を利用し楽しく身体を動かすことで脳が刺激され、活性化されて、認知症の予防にもなるといったお話を聞き、実際にやって見ることに・・・

歌を歌いながら左右違う動きをする・・・、ここまでは皆さん上手に出来ていましたが、2人で向かい合ったり、グループで同じ事をする、相手の動きを見ているために、自分の動きが思うように出来ずに頭が混乱、笑いが起こっていました。この笑うこともとてもいいそうです。

参加者の方からもっと教えてもらうには何処に行けばいいですか?とか、違う会でも先生をお呼びしたいなどの意見もあり、たいへん好評の中、有意義な時間を過ごす事が出来ました。(理事 川上卓也)

6月29日(金)、塩冶小学校に通う外国の子どもたちに遊びを通じて日本の良さを感じてもらう「日本文化体験学習：日本の伝統遊び体験」を塩冶コミュニティセンターで開催しました。

伝統遊びとして、ゴム鉄砲や折り紙、竹とんぼや七夕飾りなど、百寿会の皆さんの協力で6つの遊びを用意しました。参加人数がどれほどになるか心配でしたが、子どもたち28人のほか、家族の方やボランティアなど55名となり、たいへん盛況に開催できました。

外国の子どもたちには馴染みのない遊びばかりですが、子どもたちは遊びの中ですぐに覚え、夢中になりました。新聞紙で作った兜を自慢気にかぶる子やゴム鉄砲で的を撃つのがおもしろくていつまでも遊んでいる子、汗を流しながら羽根つきやゴム飛びに興じる子や短冊に願い事を書いて笹に結んでいる子など、どの子も本当に楽しそうでした。



引き続き外国の子どもたちへの体験学習を計画しており、11月には食を通して日本文化の理解講座を開催する予定にしています。(青少年育成部 布野達也)

高齢者話食交流会

6月22日(金)、高齢者福祉部では地域活動栄養士 来間理智子先生を迎え、塩冶地区の高齢者12名、社協理事・福祉委員10名の参加で、「話食交流会」をコミュニティセンターで行いました。

これから暑さに向かっての食事のバランスや献立の説明を受けた後、今回のメニュー「焼きさばの混ぜご飯・長芋とキュウリの梅和え・枝豆とひじきのハンバーグ・トマトとオクラの赤だし・牛乳大福」と暑さに向かってアッサリメニューでしたが、とてもおいしくいただきました。

今回は体調の悪い方の参加もありましたがイスに座って、手際よく調理される皆さんとおしゃべりしながら見ておられました。できあがると同じテーブルの皆さんと楽しそうにおしゃべりし、「今日は本当に楽しかった。来て良かった。」と喜んで帰られました。



今日のメニュー

- ◆ 枝豆とひじきのハンバーグ
- ◆ 長芋とキュウリの梅和え
- ◆ 牛乳大福
- ◆ 焼きさばの混ぜご飯
- ◆ トマトとオクラの赤だし



みんなで食事をしながらおしゃべりするのが「話食交流会」の目的です。手が痛くて包丁が使えなくても、腰や足が痛くて長らく立っていられなくても、遠慮なくお出かけください。(取材 広報広聴部)

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。

今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(7月1日から9月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名 故人名 区域名 寄附金額

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

◆◆愛友会だより◆◆



9月9日(日)、愛友会は梨狩りとその梨を使ったデザート作りを行いました。雨模様だったため、梨狩りには愛友会4名と社協理事1名で出かけ、参加できなかった人達の分も、新鮮な梨をしっかりと収穫です!!

その後はコミセンの調理室で、愛友会8名と社協理事4名、食のボランティア「えがおの会」の3名で、収穫したばかりの梨を使



って楽しみの美味しいデザート作りです。

「えがおの会」のみなさんの指導のもと、みんなでわいわい楽しくおしゃべりしながら、「梨入りケーキ」「ヨーグルトの梨ジャム添え」「梨入り蒸しケーキ」の4品を手作りしました。

そしていよいよ試食会!! 焼きたての梨入りケーキに梨ジャム添えヨーグルト…。もぎたての梨で作ったデザートの味は格別でした。デザート作りは初めてという方からも「とても楽しく、美味しかった。参加して良かった。」という声が聞かれ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

(障がい者福祉部 加茂喜美江)

塩冶地区社会福祉協議会 役員(理事)を募集!

塩冶地区社会福祉協議会(以下「社協」という。)の役員定数は25人ですが、現在理事3人が欠員となっており、団体運営に支障が生じている状況です。下記により理事を募集しますので、奮ってご応募ください。

なお、自薦他薦は問いません。

記

- 募集資格: 塩冶在住の成人
- 募集役職: 理事
- 募集人員: 3名以上
- 応募期限: 平成30年12月14日(金)
- 応募と問い合わせ先

中尾 一彦(会長): 携帯 090-7778-7879

1. 社協について

- (1) 社協の目的: 塩冶地区の住民と相互に協力して、地域社会福祉の増進を図ります。
- (2) 団体としての性格: 地区に支えられたボランティア団体で、任意団体です。
- (3) 主な活動(平成30年度): 劇団「あげそげ塩冶福祉座」公演、戦没者追悼・戦争犠牲者追悼・平和祈念式、認知症研修、機関誌の発行、福祉座談会、高齢者福祉大会、話食交流会、塩冶愛友会連携事業、子ども会育成支援、児童綱引き大会、日本文化体験の集い、ふれあいサロン事業
- (4) 役員体制: 会長1、副会長3、理事・幹事2
理事19(欠員3)
- (5) 詳しくは、社協のホームページをご覧ください。

<http://www.enyashakyo.skr.jp>

2. 募集する理事について

- (1) 任期: 就任の日から平成31年5月まで
- (2) 役割: 毎月(7,9,11月は除く)開催される理事会に出席するとともに、6つの専門部(企画部、総務部、広報広聴部、高齢者福祉部、障がい者福祉部、青少年育成部)のひとつに属し、活動します。
- (3) 報酬: ありません。

***** 編集後記 *****

天災は「忘れた頃にやってくる」と言われるが、今年の夏の世界的猛暑、そして目を覆いたくなる自然災害がすさまじい頻度で繰り返され、日本列島を総なめにした夏でした。災害で始まり、災害で終わった今年の夏も朝夕涼しく虫の音も聞かれるようになり、残ったのは疲れだけ…。と落ち込んでいましたが、9月17日(月)の「高齢者福祉大会」では150名以上の高齢者の皆さんの元気な笑顔に触れて「私も頑張らなくっちゃあ…」と元気をいただきました。

季節の変わり目、体調管理にお気をつけください。

(理事 大賀幸恵)

この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。